

副会長 二宮 明彦

皆様こんにちは。大阪西RC高士様、尼崎西RC浦上様、勝部会員ゲスト福永様、大波加会員ゲスト遠藤様、名所様、堀井様ようこそお越しくださいました。

本日も朝野会長の代理で会長の時間を務めさせていただきます。

先週金曜日のスペシャルオリンピックス チャリティーゴルフにご参加ご苦労様でした。また昨日のファイヤーサイドミーティングもお疲れさまでした。

先週に引き続いて帽子についてお話しさせていただきます。

帽子は制度の位(身分)を意味する物つまり権力の象徴として広く利用されていて、日よけや防寒としての実用的な使われ方はそれらを邪魔する物としてそれぞれの文化の中で制約を受けて来た結果多様性が生まれて来たとされています。

ヨーロッパ式の一般的なマナーを紹介させていただきます。

住居に立ち入る時は脱帽。

宿泊施設のエレベーター内で女性と同乗時は脱帽。

目上の方と会話する時は脱帽。

食事をいただく時は脱帽。

女性と会話する時にその日 の中で初めてであれば脱帽。

挨拶をする時は脱帽(挨拶の程度によって変わる)。

このマナーによる一連の動作の中におきましても、ツマミをつままない事は大切です。

ここで面白い事は、使われ方は完全に日よけか防寒でありながらもマナーは身分を表す物として機能している事です。たいていの場合はマナーは相手に対する配慮として働く事が殆どです。

それだけに帽子のマナーを使いこなしている方を見かけるとカッコイイなあ~と思います。

明日 11 月 15 日(木)はここヒューイット甲子園で奉仕団体意見交換会が開催されます。よろしくお願ひ致します。